

お天気解説 アキラのズバツと

オホーツク海高気圧

令和8年8月21日

江戸川区気象防災アドバイザー 藤井 聡

8月に入って涼しい日がしばしば…。でも、ここ数日はまた暑さがぶり返し…やっぱり猛暑は大変ですね。

さて、右図は8月3日09時の天気図です。ここに記されている「オホーツク海高気圧」について、今回は書いてみました。

オホーツク海高気圧とは、この付近にできる高気圧のことで、冷たい空気を日本列島に下ろしてきます。主に梅雨時に現れ、梅雨型天気図の名脇役です。この高気圧が張り出してくると、高気圧の周辺から冷たく湿った風が東北や関東の太平洋側に吹きます。そうすると、東京では雨がシトシトと降り続いて気温が下がります（よく「梅雨寒」とも云います）。この高気圧は、梅雨明けの頃からあまり現れなくなります。

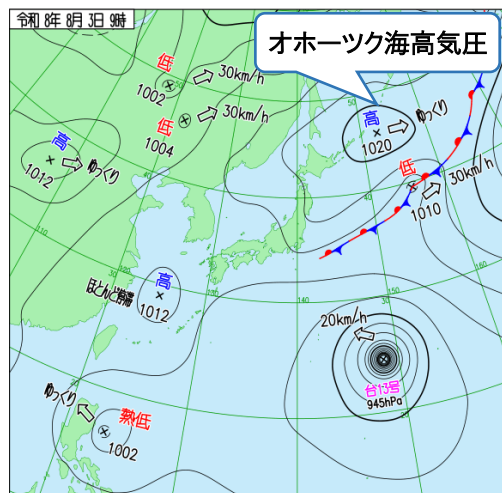


図 オホーツク海高気圧

ところが、今年のように8月になってもオホーツク海高気圧がたびたび現れる年もあります。最近、涼しい日が目立ったのもこの高気圧の影響です。東北地方ではこの北東の風を「山を背にして吹く」ことから「やませ」と言い、冷害をもたらすことで昔から恐れられていました。江戸時代には「やませ」の影響で米が獲れず、餓死した人がとても多く出ました。1993年夏はこの影響により北日本で低温と日照不足になり、コメが大凶作になったのです。

オホーツク海高気圧の出現はこの意味において脅威ですが、この8月は低温というほどのレベルではなく、北日本の冷害も避けられそうです。むしろ、7月下旬～8月はじめに猛暑の続いた関東地方にとって、天然のクーラーになった感じです。

2026年08月21日11時 気象庁 発表

日付		今日 21日(金)	明日 22日(土)	明後日 23日(日)
東京地方		曇	曇後一時雨	曇
降水確率(%)		-/-/30/30	30/20/50/50	40
信頼度		-	-	-
東京 気温 (°C)	最高	32	33	31 (29~34)
	最低	-	24	23 (22~26)

東京地方の週間天気予報

(気象庁HPから抜粋)

連休は雲が多く、にわか雨や雷雨の降る予報です。気温は30℃を超えるようです。暑さにも気を付けお過ごしください。

クリックすると気象庁による新しい情報が見られます。